

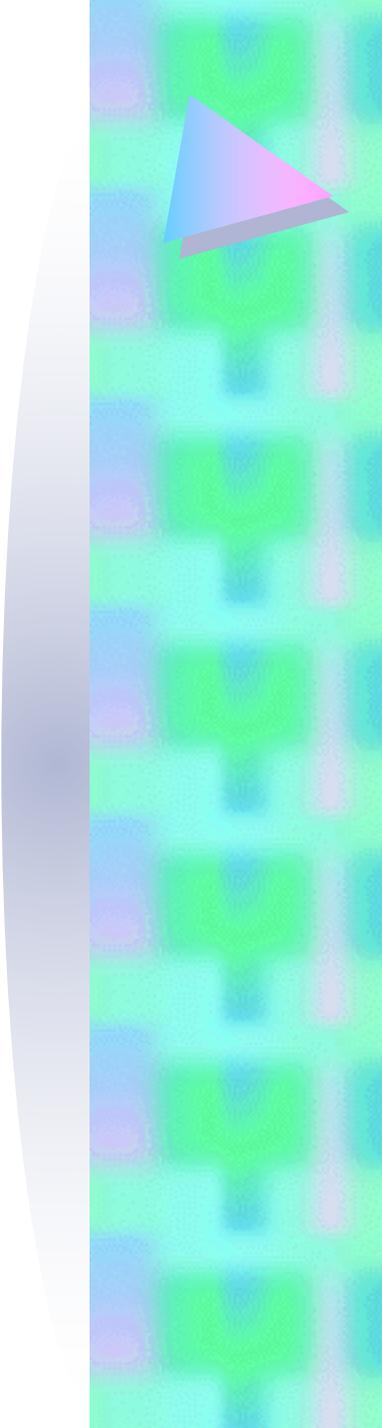
看護小規模多機能型  
居宅介護  
にここにこ (笑笑)

2024年4月23日

松永 平太

# 地域包括ケアとは

- 望むところで生き切ることのできるケア
- それが実現したのが地域共生社会
  
- 在宅死亡率 約13%
- 在宅看取り率 約9%？
- 望むところで死ぬことができない日本

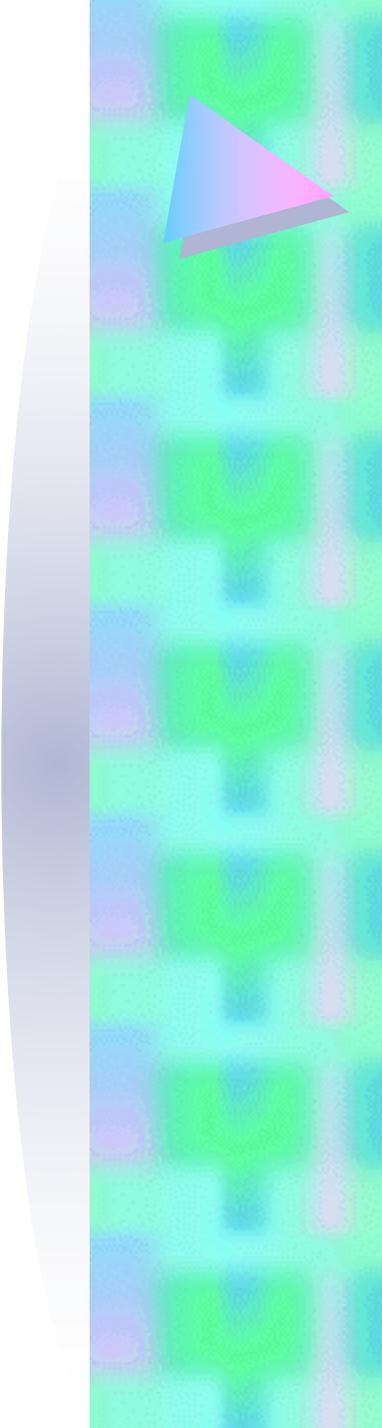


# 100歳のオバアちゃんの人生

- 今年は昭和99年
- 終戦は昭和20年だから、79年前。21歳
- 青春などなく、貧しさドン底状態
- 家族、友人が亡くなった分まで自己犠牲
- 25年で戦後焼野原から奇跡の復興
- 老後は国が守ってくれるはず・・・

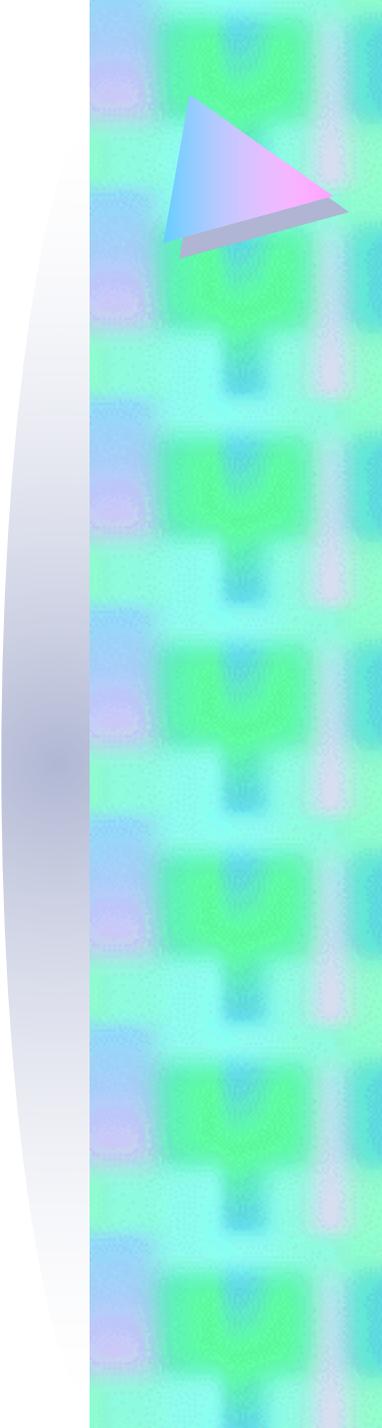
# バアちゃんの人生

- 都会では子供たちが頑張り、田舎では
- ジイちゃんが肺炎で亡くなり、独居暮らし
- バアちゃん畑仕事、次第に尿臭昼夜逆転
- バアちゃんも肺炎で入院し、壊れる
- 後方病院・施設に移り、地域から消える
- そして空き家。こんなはずじゃなかった・・・



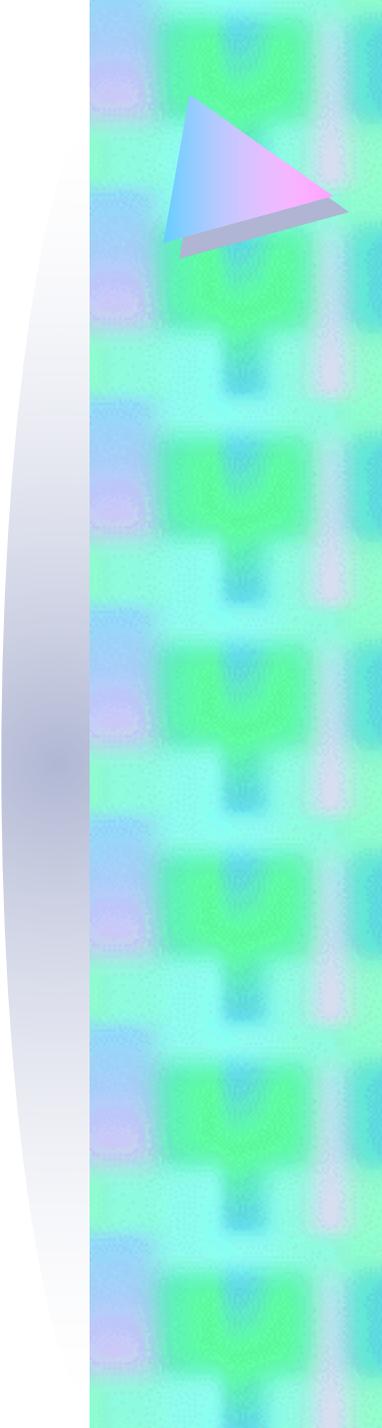
# 地域で生き切る

- 人生の所有権は誰のもの？
- 「自己決定の尊重」が無視される日本
- 「高齢者虐待の日本」という病識を持つ
- 認知症で独居 でも望むところで生きる
- 在宅復帰は家に帰らなければわからない



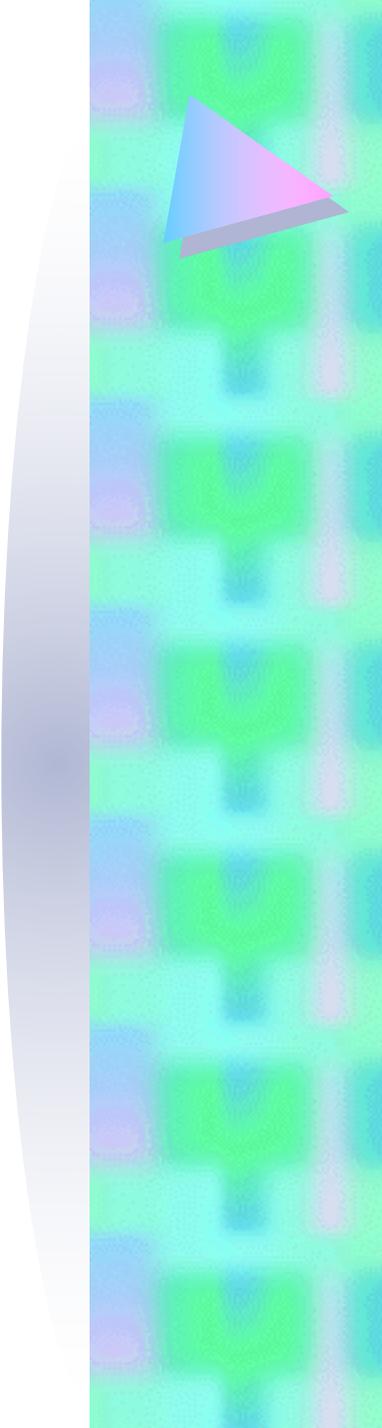
# 地域で看取る

- ケアはプロに、家族は愛を！
- 家族の仕事は 見守ること
- 亡くなる過程には濃厚な医療と介護
- 医療は青天井、介護は限度額の壁
- 優しいケアマネは 必要なケアを切る



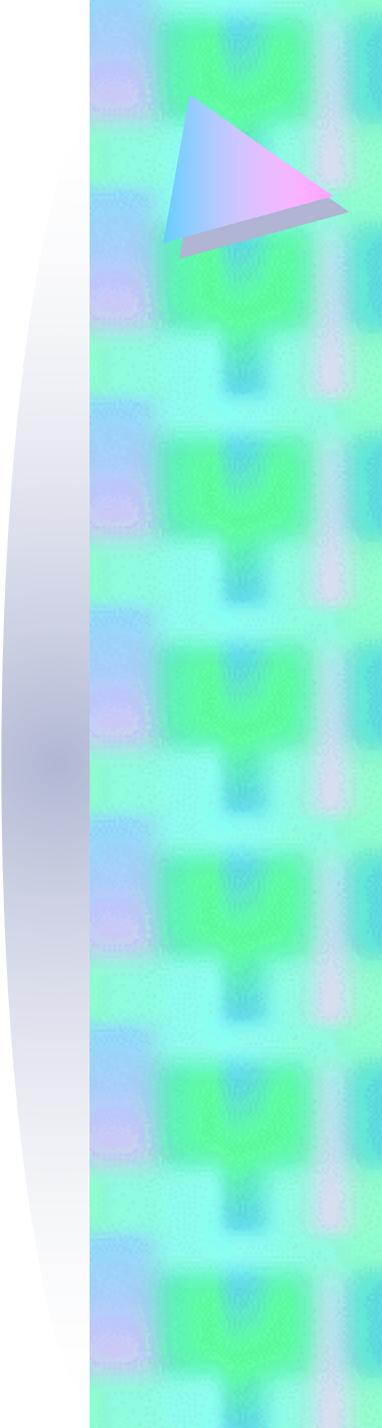
# カンタキ・シヨウタキ

- 包括払い、定額制 で看取る
- 地域包括ケア推進のバロメーター
- 地域力のバロメーター
  
- 丸ごと、寄り添うケア
- 医療と介護の連携



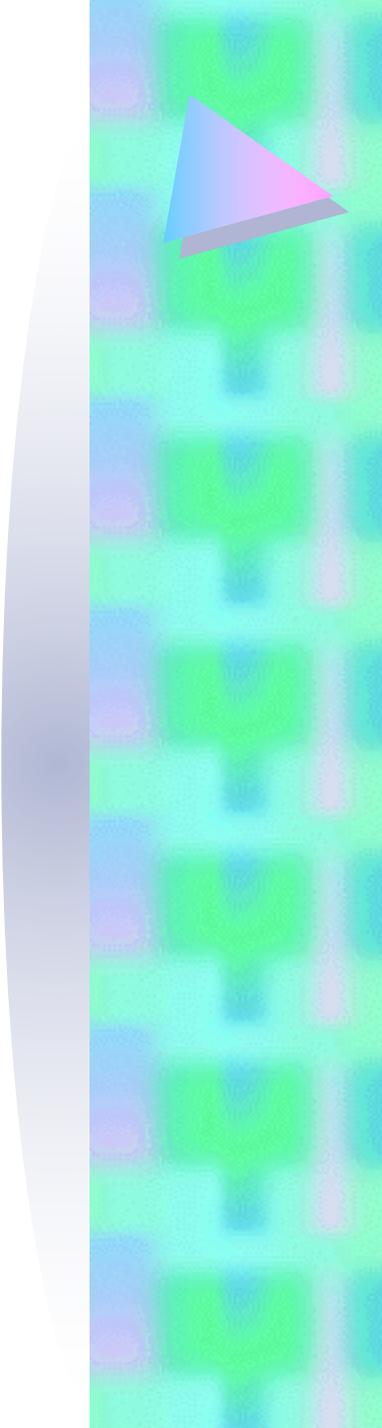
# カンタキの障壁・欠点

- ケアマネをかえる必要がある
- 丸ごと という密閉社会
  - 相性、逃げ場所が少ない、
- 地域密着型だから原則同じ市町村
- 使えない、使えにくいサービスがある
- 働き方改革と逆行する？



# カンタキの入り口

- 要介護と認定されたとき
- 急性期病院
- 中間施設
  - 回復期病棟、地域包括ケア病棟、老健
- 地域包括支援センター
- 行政

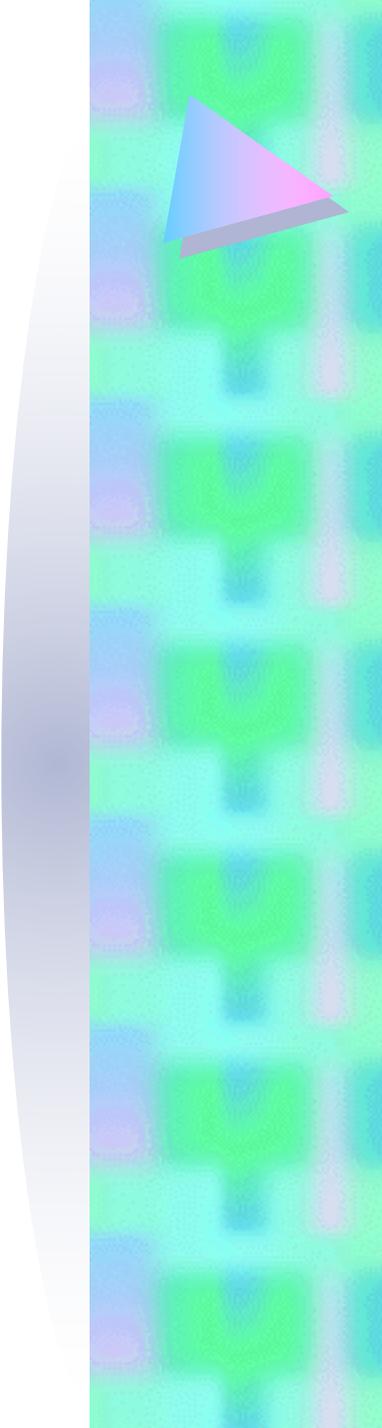


# カンタキの対象

- 病院で要介護状態となった人
- 「何かあったら・・・」心配する人・家族・近所
- 認知症で独居
- 癌も含めターミナルの人  
- ケアマネのバトンタッチ
- インスリンなど医療依存度の高い人

# 笑

- QOL ーいのちの輝きは笑顔
- 人生に寄り添い、「良い人生だった」と言ってもらいたい
- 血迷ったおジイちゃんが来るのでは・・・
- 医療とつながる社会福祉法人おかげさま
- 地域包括支援センターえがお



# まとめ Take-home Message

- 自己決定の尊重無視という病識を持つ
- 地域で生き切るために必要なサービス
- 通う、うかがう、泊まる
- 限度額オーバーを心配する必要がない
- ターミナル、医療依存の高い人を支える
- 最後まで寄り添う丸ごとケア